

なく、又可なり困難であると思ふ。  
しかも、今日商船同志會は七千圓近くの基金を有してゐる時、之に合同云々の協議せられる場合に當り、本會に一日も早く相當の基金を必要とする事は當然の事云はねばならぬ。  
之れ本案を提出する所以である。

方 法

- 1、會員一人につき毎月最低十錢を積立てることを。
  - 2、本支部は基金袋を作製して集金に便にすることを。
  - 3、募集したる基金は特別會計とし、會計監督之を保管し、信用ある銀行に預けること。
  - 4、募集状態は月々之を發表すること。
- 之に對しては、各方面から賛否交々起り、遂に、議長の裁斷により  
「會員一人につき」云々は、「任意」、云ふことをし、  
「有志より自由に募集すること」  
と修正し、大多數を以て可決。

8、商船同志會との合同に関する件

木村君

主 文

商船同志會と即時合同すること。

理 由

今や資本の攻勢は激甚を加え、日に日に狂暴をタクマしくしてゐる。之に對する吾々労働階級の對策、唯戦線の擴大と内容の充實より外にないことを信ずる。  
商船同志會と本會とは、すでに早くより、合同すべくして未だならず今日に至つてゐることは、その理由の如何を問はず、誠に遺憾に堪えざるころである。  
さきに、商船同志會の總會に於いて、「司厨部の統一」が提議せられてゐることを知る時、吾等も亦現在の海上戦線の統一は、先づ司厨部の統一より引いては甲機との統一にあると思ひ、その過程として商船同志會との即時合同を提唱する所以である。

方 法

會長統制のもとに適宜の委員よりなる合同對策委員會を作り、適當の方法を執らしむること。  
萬場一致可決

9、日本大衆黨支持に関する件

齊藤君

主 文

吾等は日本大衆黨を積極的に支持す。

理 由